

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 6 日

事務事業名		水辺空間管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	050203000780
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	060201
		0502 景観の良い住環境の保全						課長名	都市整備課
政策体系		政策名						グループ	整備・管理G
		05 快適な暮らしのまちづくり						担当者名	
		施策名							
		02 景観の良い住環境の保全							
		手段名							
		03 ③景観の維持・向上							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	04	02	03	00	水辺空間事業		
法令根拠						桜川市公園条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						単年度繰返し ( 年度~ )			
						期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	桜川市の誇れるふるさとの景観を保全し、市民が賑わい散策する水辺空間づくりを基本コンセプトとし、岩瀬地区：大神宮橋～山王橋までの約1kmの区間、真壁地区：塙世橋北側を水とふれあう憩いの場として利用できるよう整備された。 現在は、都市整備課が維持管理を務める。		岩瀬地区：防草シート・舗装・照明灯 (LED:ツラバ 社、1灯式:3基、2灯式:6基) の工事及び河川敷除草・集草・運搬の維持管理・ベンチの設置 真壁地区：河川敷除草 管理業務委託をする。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
岩瀬地区：防草シート・舗装・照明灯 (LED:ツラバ 社、1灯式:3基、2灯式:6基) の工事及び河川敷除草・集草・運搬の維持管理・ベンチの設置 真壁地区：河川敷除草 管理業務委託をする。	維持管理済み距離	m	1,064.00	1,064.00	1,064.00	1,064.00	1,064.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
水辺空間を利用する地域市民	桜川市人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
水とふれあう憩いの場として快適に利用してもらおう。	除草回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投 入 量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	
		県支出金	千円	0	0	
		地方債	千円	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	
		その他	千円	0	0	
		一般財源	千円	2,630	2,873	2,300
		事業費計 (A)	千円	2,630	2,873	2,300
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	11 需用費	995	11 需用費	300
	13 委託料	1,878	13 委託料	2,000
	合計	2,873	合計	2,300

事務事業名	水辺空間管理運営事業	事務事業No.	50203000780	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 県が掲げている美しい水際線を守る・水際線を軸として、うるおいのある生活環境をつくる・水際線の自然に親しむ空間を創造する3つの理念に基づき県が実施した事業であり、同時に桜川を中心に南側にはサイクリングロードの整備とも整合を図り、周辺環境と一体となった整備を図る目的で計画され整備された。市の事業としては、利用者の便を図るベンチや外灯の整備、及び草刈り等による維持管理を実施する。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 人工的な川の流れではないので、台風等水の増水時に学童等の転落危険がある。（安全性の確保）					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域市民が、快適で賑わいのある散策路として利用しているため、結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 不特定多数の地域市民が利用しているので市で管理するのが妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 県と管理区分協定を締結しており今の状態がベストである。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 散策路という事もあり、管理事業の休止となると草が繁茂し、見通しの悪い空間になり、安全面からも影響があると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似する事業は特にない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 近隣市民の憩いの散策路であり、削減余地はない。事務遂行にあたっては人件費削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 多くの地域市民が利用する管理事業であり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 岩瀬地区については年3回、真壁地区については2回除草作業を行った。このくらいの頻度で除草作業を行っていけば、美観的にはある程度維持されている。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） （複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/> 確認	